



看取りの文化を構想する

□ オンライン開催

死生学研究所ホームページから
お申込みください

□ お申込み締め切り

2023年12月20日（水）17時

□ お問い合わせ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□ 先着 100名様

□ 参加費 無料

第7回連続講座

田代志門

(たしろ しもん)

東北大学大学院
文学研究科准教授

12月23日（土）

16:20-17:50

「現代人の死に方」を支える仕組みとは ホスピスからコンパッション・コミュニティへ

内容紹介：

社会の近代化とともに人びとの死に方は大きく変わりました。前提になっているのは高齢化と病院死の増大ですが、それ以上に大きな影響を与えてきたのは、命の長さだけを重視しない価値観の登場と本人の意向を重視する意思決定スタイルの浸透です。これにより、本人が主体的に死までの過程を生ききることを支援する仕組みとしてホスピス・緩和ケアが普及していくことになりましたが、近年ではそのあり方を大きく変えるべきだ、との指摘も出てきています。本講演ではこうした流れを整理し、これからの看取りのあり方を皆さんと一緒に考えたいと思います。

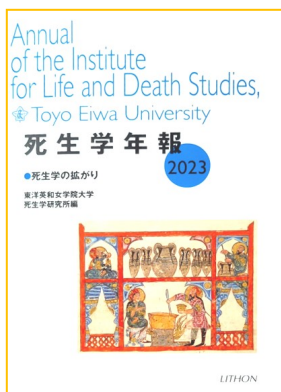
■プロフィール

2007年、東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

東京大学特任助教、昭和大学講師、国立がん研究センター生命倫理部長を経て、現在、東北大学大学院文学研究科准教授。専門は社会学・生命倫理学。

■主要業績

主な著書に『死にゆく過程を生きる——終末期がん患者の経験の社会学』（世界思想社、2016年）、『臨床現場のもやもやを整理する——緩和ケア×生命倫理×社会学』（医学書院、2023年）など。



東洋英和女学院大学死生学研究所編

死生学年報2023

「死生学の拡がり」

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます

◆お問い合わせ 東洋英和女学院大学 死生学研究所

shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

<予告>

◇第8回〈公開〉連続講座 2023年1月20日（土）16:20~17:50

山田愼也（国立歴史民俗博物館民俗研究系 教授）

お申込みはこちら

